

自治体職員・保健師のための ナッジ活用術

風しんの集団免疫を獲得せよ

Q. 子どもの頃に風しんのワクチン接種を受けましたか？

風しんの追加的対策の対象者（1962年4月2日～1979年4月1日生まれの男性）の2人に1人（55%）が、「受けた」と回答しました。実際には、公的な予防接種は行われていません。



2人に1人が「受けた」と勘違いしているかも。

ナッジとは…

人間の意思決定のクセを踏まえて、強制せず、高額な金銭的報酬も使用せず、自分自身や社会にとって最適な選択を人々が自発的に実行できるように促すためのメッセージやデザイン・仕組み・制度のこと。



あなたの自治体の取組状況を チェックしてみよう！

厚生労働省は、風しんの追加的対策として、2024年度末までに、対象年代の男性の抗体保有率を80%→90%に引き上げることを目標に掲げています。2022年度時点で、全国の抗体検査受検率は約25%、抗体保有率は約85%弱とされています。

check

① あなたの自治体は、2024年度末までに目標を達成できますか？

② クーポン券を送付する際の案内文に工夫をこらしていますか？

③ クーポン券の送付以外に広報活動を行っていますか？

ひとつでもチェックがつかない場合は、本書に掲載のリーフレットと封筒メッセージ、動画をご活用ください



企画・制作

大阪大学 経済学研究科/感染症総合教育研究拠点 行動経済学ユニット

制作協力

NPO法人 Policy Garage, nae 株式会社

風しんの集団免疫の獲得のために

公的な予防接種が行われていない世代へのアプローチ

1 風しんは本人だけでなく、将来世代にも負の影響

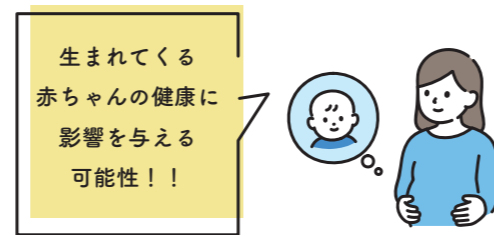
風しんとは

感染者の咳やくしゃみ、会話などで飛び散る飛沫を吸い込んで感染します。小児は発熱、発疹、首や耳の後ろのリンパ節が腫れて、数日で治ります。まれに高熱や脳炎になって入院することがあります。成人は高熱・発疹の長期化・関節痛など重症化の可能性があります。



先天性風しん症候群とは

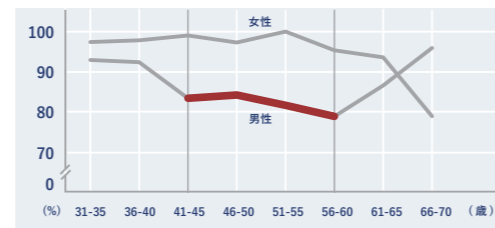
妊娠初期（20週以前）に風しんに感染すると、赤ちゃんが先天性心疾患・白内障・難聴を特徴とする先天性風しん症候群をもって生まれてくる可能性があります。



2 43-60歳男性*には、風しんの公的予防接種が行われていない

*2022年度時点

1962年4月2日～1979年4月1日生まれの男性は、過去に公的な予防接種が行われてこなかったために、他の性年代よりも抗体保有率が低く、風しんに感染するリスクが高くなっています。自覚症状が少ないため、電車や職場など人が集まる場所で、気づかぬ内に周囲の人たちに感染を広げてしまうおそれがあります。



※2022年4月時点の年齢に調整済み

出典：国立感染症研究所・2020年度調査

3 2人に1人が「子どもの頃に、風しんのワクチン接種を受けた」と回答

2022年7月に、大阪大学の研究チームが、日本全国に居住する対象年代の男性のうち、2019～2021年度に風しんの抗体検査を受検していない人に、アンケート調査を行いました。

「子どもの頃に、風しんのワクチン接種を受けたかどうか」を質問したところ、2人に1人（55%）が「受けた」と回答しました。実際には、公的な予防接種は行われていません。

2人に1人が

「子どもの頃に、風しんのワクチン接種を受けた」と回答しました
(N=8,750)

行動経済学・ナッジを活用した「風しん抗体検査の勧奨通知」

2019年度から、風しんの追加的対策として、対象年代の男性の風しん抗体検査・ワクチン接種が無料化され、居住する市区町村からクーポン券が郵送されていますが、目標とする受検率・接種率には大きく届いていません。そこで、無料化が終了する2024年度末までに目標達成するため、大阪大学の研究チームが、行動経済学・ナッジを活用した「風しん抗体検査の勧奨通知」を制作しました。

43 - 60 歳男性の皆様へ

風しんの抗体を持っていると思いませんか？

1：この年代の男性には、公的な予防接種が行われていません
2：他の感染症の水ぼうそう・はしかと混同している場合があります

あなたがきっかけで、妊娠初期の女性が風しんに感染すると赤ちゃんが心疾患・白内障・難聴をもって生まれる可能性があります

未来の子どもたちを守るために「抗体検査」を受けましょう！

ステップ1 同封書類に記載されている医療機関を予約する

ステップ2 抗体検査を受ける

同封のクーポン券を使えば「無料」で受けることができます！

料金後納郵便

風しん抗体検査・予防接種無料クーポン券在中

茅ヶ崎市から大切なお知らせです。今すぐ開封して中身を確認してください。

茅ヶ崎市保健所 〒253-8660 茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目8番7号

43～60歳男性の皆様へ

風しんの抗体を持っていると思いませんか？

この封筒は再生紙を利用しています。また、封筒は再生利用(リサイクル)できます。

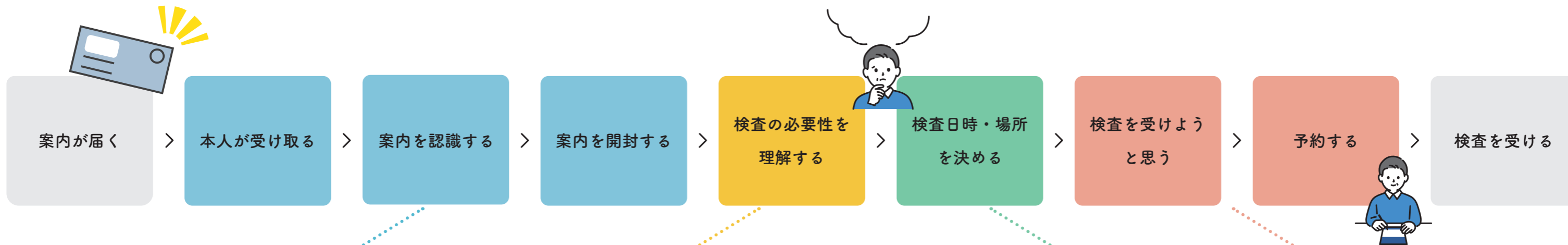
最新年度版データのダウンロードはこちら



「阪大 風しん リーフレット」で検索してください。

POINT 2022年度に、神奈川県茅ヶ崎市と茨城県つくば市で試験的に導入されました。

行動プロセス・マップを活用して、 「なぜ抗体検査を受けないのか？」を整理しました



ボトルネック①
封筒を開けていないのでは？

デザインの工夫
「誤解」の可能性に気づいてもらうためのメッセージを、封筒に記載しました。

ボトルネック②
自分は受ける必要がない、と考えているのでは？

デザインの工夫
なぜ検査を受ける必要があるのかが簡単に理解できる説明を、箇条書きで記載しました。

ボトルネック③
風しんに感染しても大丈夫、と考えているのでは？

デザインの工夫
妊婦さんに感染を広げることのリスクや社会的な影響をわかりやすく伝えて、**利他性**※に働きかけました。
※他人や社会を思いやる気持ち。

ボトルネック④
受検するつもりはあるのに、先延ばししているのでは？

デザインの工夫
動作指示※で、検査を受けるために必要な行動を分かりやすく示しました。また、自ら記入を求めて意向を強化することで、受検を実行できるように促しました。
※してほしい行動までの必要な手順（動作）を具体的に示すこと。

解説メモ **行動プロセスマップ**
行動プロセスマップは、市民の方々に取ってほしい行動（今回は風しん抗体検査の受検）をゴールとして、ゴールまでに必要な手順・行動を時系列で整理したものです。この手法は、ゴールまでのボトルネック（阻害要因）を明らかにし、その解決策を検討する上で役立ちます。

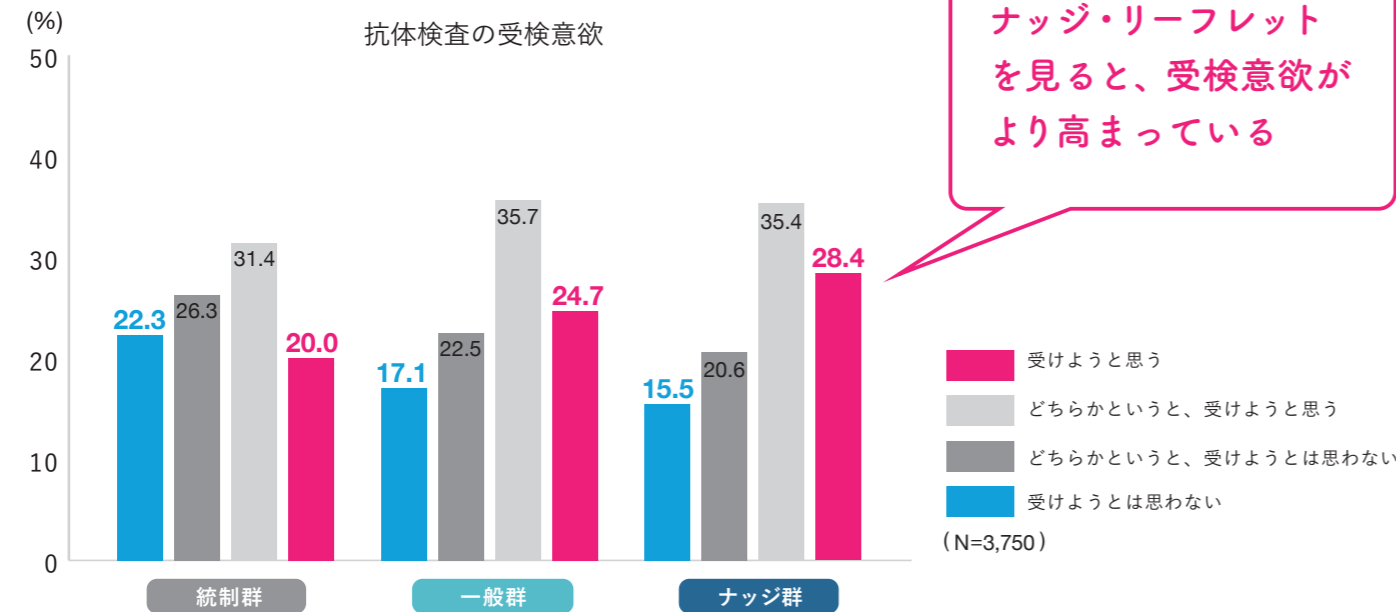
詳しくは自治体ナッジウェアの解説ページまで！

ランダム化比較試験を活用して、「風しん抗体検査の勧奨通知」の効果測定しました

ナッジ・リーフレットは、抗体検査の受検「意欲」を高める

2022年7月に、43～60歳の男性のうち、まだ抗体検査を受けていない人を対象に、アンケート調査を行いました。アンケート調査では、以下の3グループに分けて、ランダム化比較試験の形式で、異なる情報を提示した後、抗体検査の受検意欲を把握する質問を設けました。

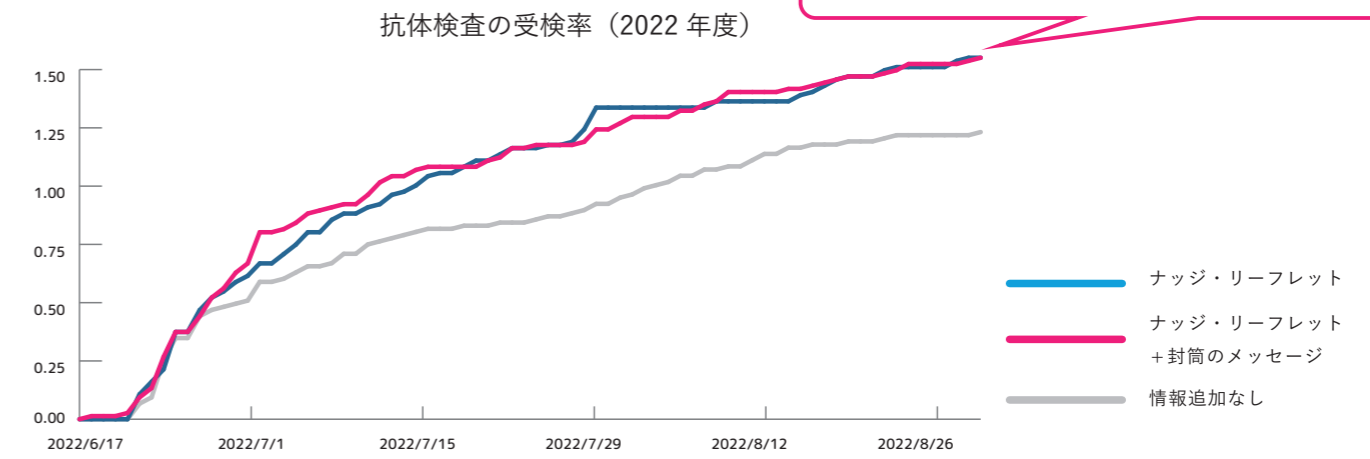
- ナッジ群** 基礎的な情報+ナッジ・リーフレットを提示するグループ
- 一般群** 基礎的な情報（厚生労働省からのお知らせ）を提示するグループ
- 統制群** どの情報も提示しないグループ



ナッジ・リーフレットは、抗体検査の受検「行動」も促進

2022年度に、複数の地方自治体の協力を得て、風しんクーポン券を送付するときに、ランダムに以下の3グループに分けて効果検証事業を行いました。

- ナッジ・リーフレットを追加するグループ
- ナッジ・リーフレット+封筒のメッセージを追加するグループ
- どの情報も追加しないグループ



厚生労働省からのお知らせ

風しんの予防接種は、現在、予防接種法に基づき公的に行われています。しかし、公的な接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、抗体保有率が他の世代に比べて低く(約80%)なっています。

対象者の方には、お届けする無料クーポン券を利用して、まず抗体検査を受けていただき、抗体検査の結果、十分な量の抗体が無い方は、定期接種の対象となります。

風しんは、感染者の飛まつ(唾液のしぶき)などによって他の人にうつる、感染力が高い感染症です。妊娠初期の妊婦が風しんに感染すると、出生児が心疾患・難聴・白内障になる可能性があります。大人になって感染しても無症状～軽症のことが多いですが、まれに重篤な合併症を併発することがあります。無症状でも他人に風しんをうつすことがあるので、感染を拡大させないためには、社会全体が免疫を持つことが重要です。

厚生労働省の情報

43 - 60 歳男性の皆様へ

風しんの抗体を持っていると思込んでいませんか？

- この年代の男性には、公的な予防接種が行われていません
- 他の感染症の水ぼうそう・はしかと混同している場合があります

あなたがきっかけで、妊娠初期の女性が風しんに感染すると赤ちゃんが心疾患・白内障・難聴をもって生まれる可能性があります

未来の子どもたちを守るために「抗体検査」を受けましょう！

ステップ1: 同封書類に記載されている医療機関を予約する

ステップ2: 抗体検査を受ける

ナッジ・リーフレット

ナッジ・リーフレット

封筒のメッセージ

ランダム化比較試験 (RCT)

RCTは、提供した介入(ナッジ)の効果測定するための、EBPM手法の一つです。対象となる市民の方を、ランダムに「介入群(ナッジを行う群)」と「対照群(ナッジを行わない群)」に割り振って結果指標を比較することで、ナッジの効果をより正確に評価することができます。今回の実証事業でも「ナッジ群」「一般群」「統制群」などの無作為割り当てを行いました。

詳しくは自治体ナッジシェアの解説ページまで！

解説メモ

「風しん抗体検査・ワクチン接種の広報動画」を制作しました！

「ウエディング編」



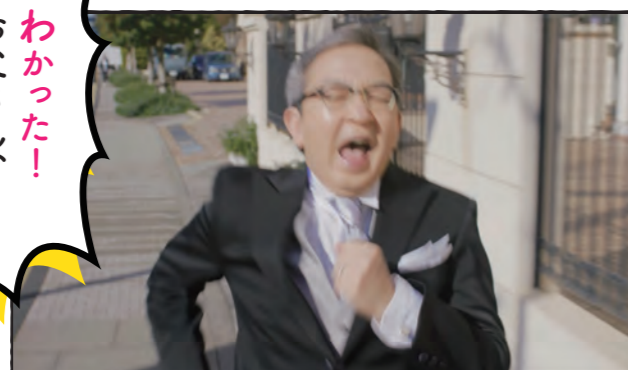
お父さん、
ずっと前から
聞きたかったんだけど、
風しんの抗体検査
受けてないよね？



風しん？
子どもの頃に
かかったと
思うけどなあ…



水ぼうそうや
はしかと混同していない？
お父さんたちの世代には
風しんの公的接種が
行われていないの。
私に赤ちゃんができて、
お父さんから感染したら…



わかった！
お父さん、
今から受けて
くるよ！！

制作：(株)テレビマンユニオン

「ウエディング編」「オフィス編」の2パターンを制作しました。
「阪大 風しん ウェディング」などで検索してください。



フルverはこちらから！

現場での動画活用アイデア

制作した動画が、より多くの人々に届き、抗体検査の受検やワクチン接種につながるように、自治体や保健所で働く現場の方々と一緒に動画の展開方法を考えるワークショップを開催しました。そのワークショップで現場の皆さんから発表頂いた、動画を活用するアイデアについて紹介します。

SNS やメッセージアプリ、動画サイトの上手な活用を

Youtube や Twitter、ホームページに動画を掲載しただけでは誰も見てくれない…。LINE のプッシュ通知や、著名人・インフルエンサーとのタイアップなど、効果的に情報を広げる戦略が必要だと思います。



43～60歳の男性がよく使う場所で放映しては

対象者は働いている世代なので、通勤途中で目にする駅や電車内のモニターで放映する。また、野球場やサッカー場、競輪・ボートレース会場などで動画を流すのも効果がありそう。

家族や会社から働きかけてもらうと効果的

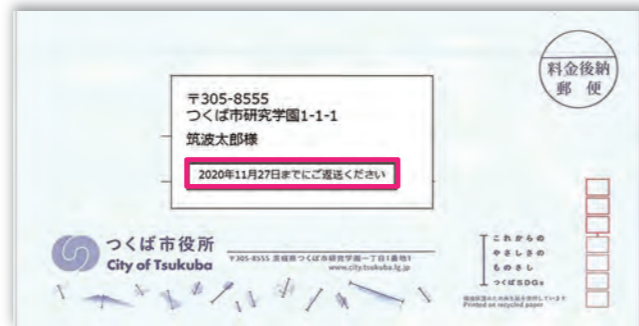
ご家族や会社の同僚・部下など、身近な人から伝えてもらうアプローチが、特に有効な世代だと思います。本人だけでなく、周りにいる人を対象にしたアプローチを検討してみては？

ナッジの実践事例の紹介

① 茨城県つくば市の事例

封筒のメッセージ

市民からの「同意書の返送率」をあげるため、対象者を4つのグループにランダムに分けて、それぞれのグループの封筒の「宛名ラベル」に異なるメッセージを印字して、返送率のグループ差を測定しました。



出典：茨城県つくば市

検証結果

「〇月〇日までにご返送ください」というメッセージを印字したグループの返送率が、メッセージなしのグループに比べて**13.0%ポイント**高くなりました。この結果を踏まえて、本事業ではその後、封筒の宛名ラベルに必ず「返送期限」を入れることにしています。

② 横浜市戸塚区の実例

動作指示

市税の期限内の納付率を向上させるため、口座振替の申込案内にナッジの知見を活用しました。具体的には、固定資産税の新規納税者に郵送していた口座振替の勧奨チラシをナッジ版に改善し、申込時に記入が必要な所有者コードも同封して案内しました。

Before

After

表

納付期	第1期	第2期	第3期	第4期
お申し込み期限(引落日)	3月10日	6月10日	11月10日	1月10日
納付期(引落日)	4月末日	7月末日	12月末日	2月末日

裏

出典：横浜市戸塚区、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)

検証結果

ランダム化比較試験の結果、従来のチラシ（左）を送付した場合に比べて、口座振替の申込率が**8.8%ポイント(2倍強)**上昇することがわかりました。

効果的なナッジを作るためのツール集

BASIC

BASICは、経済協力開発機構（OECD）が提案する、ナッジ活用プロセスをまとめたツールで、「行動（Behavior）」「分析（Analysis）」「戦略（Strategy）」「介入（Intervention）」「変化（Change）」の5つのステップからなります。今回の通知・動画の作成にあたって、このステップに沿って検討し、ナッジの活用を進めました。



EAST

EAST は、英国内閣府の行動インサイトチーム（BIT）が提案する、行動科学的な介入策を検討する際に有効なチェックリスト型のツールです。「簡単に（Easy）」「印象的に（Attractive）」「社会的に（Social）」「タイムリーに（Timely）」の4つの観点と11のポイントに整理されています。

Easy	簡単に
Attractive	印象的に
Social	社会的に
Timely	タイムリーに

自治体ナッジシェア

自治体ナッジシェアは、ナッジの活用に関する情報を集約して発信しているウェブサイトです。日本国内のナッジの活用事例やツールの使い方について、わかりやすく紹介しています。大阪大学社会経済研究所・行動経済学会・NPO 法人 PolicyGarage が、共同運営しています。

これらのツールについて詳しく知りたい方はこちら

